重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	性別や立場に関係なく家庭・地域で対等な役割分担がされている		年度	平成27年度
			責任部長	企画部長
			主担当課長	企画政策課長
施策名	男女それぞれの個性や能力を生かせる環境をつくる	No.51	関係課	生涯学習課

1．まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
地域活動への参加経験者の割合（%）	↗	41.4	43.0	40.9	43.1	43.6	43.2	47.5
		43.2	43.1	45.4	44.7			54.1
性別や立場に関係なく、家庭・地域で自由に意見交換ができると思う人の割合（%）	↗	27.6	27.6	26.4	32.4	32.1	32.9	34.5
		32.9	33.1	30.5	31.2			40.9

2．外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

若い世代では、若い男性の育児・家事への関心の高まりや共働き家庭の増加などにより、性別役割分担に対する男女間の意識の差は徐々になくなりつつある。一方、年配の世代においては、いまだ固定的な役割分担意識が根強く残っている。また、町内会などの地域活動では、女性に比べ、男性は一般的に地域のつながりがあまりなく、地域活動の意識の低下や仕事が忙しく地域活動との両立が難しいといった現状がある。

3．めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	**B** 停滞	「地域活動への参加経験者の割合」は、微増で推移し、「性別や立場に関係なく、家庭・地域で自由に意見交換ができると思う人の割合」は、微増減を繰り返してきた。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった固定的な性別役割分担意識は、変化はしているもののいまだ根強く残っており、男女間や世代間による意識の差も大きい。今後も世代間意識格差を認識しながら、継続した形で役割分担意識の解消に向けた意識改革が必要である。

評価がB・Cの場合

4．事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）
家庭生活において、男女が互いに協力している	地域活動において、男女が互いに協力している		
男性が参加しやすい生活実践講座の開催	男女共同参画に関するイベント等開催		
父親の育児参加の促進	男女共同参画意識の啓発事業		
子育ての学習機会の提供	男女共同参画意識の啓発事業		
男女共同参画推進事業	各種女性団体指導者養成事業		
	地域における活動団体への支援		

評価観点	1．長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2．各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	長期成果は、男女それぞれの個性や能力を生かせる環境を「家庭生活」と「地域活動」からとらえており、問題ない。 家庭や地域で根強く残る、固定的な性別役割分担意識は、個人個人の価値観や考え方によるところが大きく、この意識を変えていくことは、行政の事業活動だけでは難しい。今後も固定的役割分担意識の解消など、男女平等の意識づくりを進め、粘り強く意識啓発に努めたい。
次年度の改善計画	【改善】男女共同参画意識の啓発事業 ①街頭にて男女共同参画の啓発グッズにより周知を図る。 ②講座内容を市民の関心の高いものに見直して受講者数を増やし、意識改革の啓発に努める。

＊＊＊

総合計画推進市民会議による現状評価（※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の評価書」から転記）

評価	**B** 停滞	指標1は停滞、指標2は改善傾向ではあるが目標に未達である。家庭での役割は経済的な影響がかなり大きいのではないか。また町内の会議などで誰もが発言できるような環境づくりが必要と思われる。